

編集後記

秋も深まり、紅葉が見ごろとなりましたが、会員の皆様におかれましては、御健勝のことと推察申し上げます。さて、山梨医科学雑誌YMJ24巻3号をお手元にお届けいたします。本号では、生化学第2教室に本年4月に着任されました宮澤恵二教授に「TGF- β のシグナル伝達とSmad cofactors：多様な細胞応答を可能にする分子の基盤」というタイトルで、総説を御執筆いただきました。先生がなされてきたSmad cofactor研究について興味深い内容であり、山梨大学での今後の発展が期待されます。また原著「マウス精巣への*in vivo*遺伝子導入による外来遺伝子の発現の検討」では、産婦人科学教室の平田修司先生がリーダーシップをとられまして、*in vivo*精巣で外来遺伝子が特定細胞に発現する研究データを御執筆いただきました。また、英文のCase Reportと和文の症例報告は、ともに整形外科領域の先生方から御投稿いただきました。以前より山梨医科学雑誌を見ますと、整形外科教室より症例報告や原著論文が投稿されており、本スクールジャーナルの発展に、大いに貢献していただいております。他の臨床各科の先生方よりも、さらに多くの症例報告等の御投稿をしていただきたくお願い申し上げます。

現在、すでに御存知の会員先生方もおられるかと思いますが、山梨大学において学術情報発信の手段として「リポジトリ」が、平成21年6月1日より運用されております。これは、一般学術ジャーナルに発表された論文内容を、さらにこのリポジトリを利用して公表することが、可能となるものです。先日の山梨医科学雑誌YMJ編集委員会においても、この「リポジトリ」を学術情報発信の手段として、もっと有効に利用することが議論されました。もちろん山梨大学図書館運営委員会や医学分館運営委員会で、リポジトリ掲載方針の詳細が決定された後には、会員皆様の投稿論文が、山梨医科学雑誌に掲載されるとともに、ホームページにおいて全世界から論文へのアクセスが可能となります。山梨大学医学部で行われた独創的な基礎医学及び臨床医学的研究成果が、リアルタイムで全世界に発信できるということになります。今後の山梨医科学雑誌YMJの益々の発展が期待できます。

平成21年晩秋
(大野伸一、久保田健夫)

山梨医科学雑誌 第24巻 第3号

平成21年11月10日

編集・発行 山梨大学医学会
〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地
山梨大学内 Tel. 055-273-1111 (内) 2242
投稿連絡先 (内) 2440

印刷所 株式会社 東京プレス
〒174-0075 東京都板橋区桜川2-27-12
Tel. 03-3932-9291